

学習進度表について

1. 目的

国際教室での学習進度を保護者にお知らせするために作成しました。
「漢字ができない」「算数ができない」という言葉だけでは、保護者にはきちんと伝わりません。国際教室での子どもの学習の様子を伝えたり、がんばりを伝えたりするために、この表をご活用ください。

2. 使用方法

懇談会等で通知表と合わせて保護者に渡します。また、初期、中期指導の段階の児童生徒には、通知表に代わるものとして活用することも有効です。

3. 評価について

国語（漢字）

・評価は

○100～80%読める/書ける △79～50%読める/書ける ×49%以下読める/書ける
の3段階で行います。

日本語

・日本語ステージは、右側の「ステージの説明」を基に当てはまるステージ番号を記入します。DLAや国際教室での取り出しの様子を見て記入して下さい。ステージの詳しい説明は『外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA』p8または文部科学省HPをご覧ください。

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/20

★参考資料

「JSL評価参照枠」の6段階のステージと「個別の指導計画」の学習目標項目の段階と『外国人児童生徒受入れの手引き』の日本語プログラムとの関係

「JSL 評価参照枠」		「個別の指導計画」の学習目標項目の段階
ステージ	学齢期の子ども在籍学級参加との関係	
1	学校生活に必要な日本語の習得が始まる。	初期支援（前期）
2	支援を得て、学校生活に必要な日本語の習得が進む。	初期支援（後期）
3	支援を得て、日常的なトピックについて理解し、学級活動にも部分的にある程度参加できる。	教科につながる初歩的な学習
4	日常的なトピックについて理解し、学級活動にある程度参加できる。	教科につながる基礎的な学習
5	教科内容とある程度関連したトピックについて理解し、授業にある程度の支援を得て参加できる。	教科につながる学習
6	教科内容と関連したトピックについて理解し、積極的に授業に参加できる。	教科学習

※「日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導の在り方に関する検討会議資料」より一部転用

算数

・評価は

○100～80%できる △79～50%できる ×49%以下
の3段階で行います。

・すべての項目で評価をするのではなく、主に学習した項目について評価をするとよいでしょう。